

1・27「建白書」10年 日比谷野音集会

辺野古の海を埋めるな！
沖縄の民意を日本の民意へ
請願署名を全国に広めよう！



銀座をデモする沖縄代表团（2013年1月27日）

日時 2023年 **1月27日** (金)

開場18時【デモ出発19時45分】
開始18時30分

会場 **日比谷野外音楽堂**

集会後、銀座デモ（10年前と同コース）

沖縄からの訴え

福元勇司（オール沖縄会議事務局長）

様々な分野で活躍されている方々からのアピール（予定）

主催 ■ 「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会

HP：<https://humanchain.tobihiro.jp> E-mail：henokovoice.echo@gmail.com



▲ホームページ

◆チラシもダウンロードできます



▲メール

集会への賛同を呼びかけています。
多くの皆様のご協力を
よろしくお願いたします！

裏面を
照らして
裏ごさ

オール沖縄会議呼びかけの

「辺野古新基地建設断念を求める国会請願署名」を取り組もう！

2023年1月27日は歴史的な日です。10年前のこの日、沖縄県の全ての41市町村長と市長村議会議長が上京し、日比谷野外音楽堂で歴史的な集会と銀座デモを行った日だからです。翌日の1月28日には、沖縄の代表団は自ら署名・捺印した「オスプレイの配備撤回・普天間飛行場の閉鎖・撤去と県内移設断念」を求める「建白書」を安倍首相（当時）に手交しました。

その後、県民は3回の県知事選挙と県民投票（2019年）で辺野古新基地建設に反対する民意を示し続けてきました。しかし、政府は県民の民意を踏みにじり、埋め立て工事を強行し続けています。県民は「勝つ方法はあきらめないこと」を合言葉に3000日以上ゲート前非暴力座り込み行動、さらに安和・塩川・海上での抗議行動で工事の進行を止めています。

また、知事は行政の権限を行使して県民と共に闘っており、埋め立て承認の取り消し、埋め立て承認の撤

回、さらに工事が技術的に不可能な軟弱地盤の改良工事を不承認にしました。知事の決定に対して、防衛省は国民の権利救済の法律である行政不服審査法を悪用し国土交通相に県の取り消しを求め、国土交通相は県の決定を取り消しました。さらに裁判所も政府の違法行為を容認する判決を下しています。政府と司法が一体となり、知事の決定を覆して、基地建設を強行することは法治国家にあるまじき暴挙であり許せません。

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議は、もう一度県民の声を政府に届けるために「辺野古新基地建設の断念を求める国会請願署名」を全国に呼びかけています。この署名は辺野古新基地建設反対が全国の民意であることを政府に示すものです。

1・27集会で沖縄と全国の力をひとつにして辺野古新基地建設を許さない大きな声を上げていきましょう。多くの皆さんの参加を呼びかけます。

ネット署名



「辺野古新基地建設の断念を求めます」
Stop the new base in Henoko with your signature
オンライン署名サイト

集会への賛同を呼びかけています。多くの皆様のご協力をよろしくお願いします！

賛同金

個人1口 1,000円

団体1口 2,000円

郵便振替口座

口座番号 00180-3-177458

加入者名 ピースポート

※通信欄に、「1/27 日比谷野音集会」とお名前の公表の可否をご記載ください

県民は3回の県知事選挙と県民投票（72%が辺野古埋め立て反対（2019年2月））で

辺野古新基地建設に反対する民意を示し続けています